

ボルグワーナー、ヨーロッパの大手 OEM を含む商用車向け 800 ボルト電気モーターHVH320 を発表

- 最大効率 97% の高電圧ヘアピン (HVH) 320 モーター
- 定格電圧 800 ボルトが実現する高い電力密度、充電時間の短縮
- 4 つのバリエーションにより幅広い要件に対応

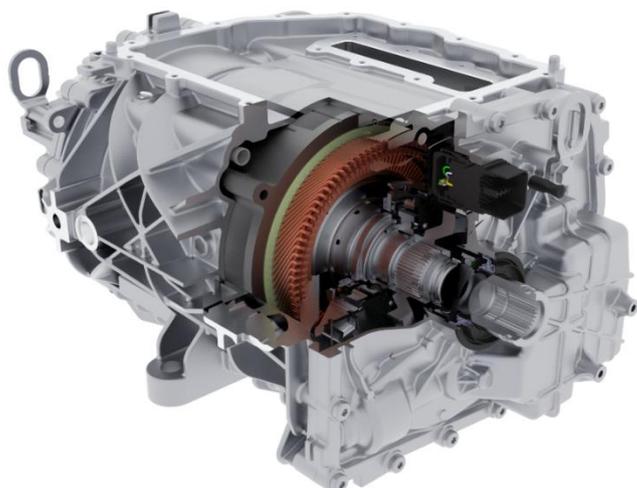
ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric B. Lissalde)は、ヨーロッパの大手 OEM を含む商用車メーカーが手がけるさまざまなハイブリッドおよび電気駆動システムに適合する動力源として、新開発高電圧ヘアピン (HVH) 電気モーター、HVH 320 の開発を完了しました。定格電圧 800 ボルトの高性能と 4 つのバリエーションを備えた HVH 320 の本格生産は 2024 年に開始される予定です。このモーターのもつ多面的なプラットフォームは、メーカーの目指す汎用性の高い電動ドライブトレインの開発をサポートし、約 97% の最大効率と 400kW 以上のパワーを提供します。

ボルグワーナーは、10 年以上にわたるモーター生産の経験を活かし、モジュール化された汎用性の高い HVH320 モータープラットフォームに 4 つのバリエーションを設け、顧客が求める様々な要件を満たすことに成功しました。モーターの最大トルクが 1270 Nm に達しながら、クリーンで静かな動作を可能にします。また、同モーターは変速を補助し、制動時や下り坂走行時には発電しその電力でバッテリーを充電することができます。

ボルグワーナーの HVH シリーズモーターの製品ラインナップの中で最も新しい HVH320 モーターは、小型乗用車から大型商用車までカバーできます。用途の広いこれらのモーターは、特許取得済みのステータ巻線技術を特徴としており、一体化設計が容易な構造となっています。また、ハウジング込みのモーター完成品あるいはローター/ステータのみのアセンブリとして出荷できます。モーターは車両のあらゆる位置に搭載可能です。ボルグワーナーはモーター同様、次世代型の 800 ボルトレベルのインバーターも提供しています。

ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長のステファン・デメール博士は「HVH320 が当社の電気モーターファミリーに加わり、品揃えが豊富になりましたが、これは市場ニーズに合った最先端のクリーン動力を提供するというボルグワーナーの取り組みを表す優れた例です。当社の定格電圧 800 ボルトのモーターを使用することにより、充電

時間が大幅に短縮され、電力密度が高くなるので、電気トラックの未来がさらに明るくなります」と述べています。



**最大効率 97%、定格電圧 800 ボルトを実現した
ボルグワーナー高電圧ヘアピン(HVH)320 モーター**

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー(NYSE: BWA)は、内燃機関、ハイブリッド及び EV 向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを有する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 24 カ国 99 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 48,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の 2019 年 12 月期の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020 年 10 月 1 日に完了したデルファイ・テクノロジーズ社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびト

ラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K の第 1A 項「リスク要因 (Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスク(感染症の大流行や検疫等)が挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、佐藤

TEL:03-3571-5326 FAX:03-3574-0316

EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp